

# 果樹生育情報 8月号

令和5年8月21日

栗原農業改良普及センター

## 〈りんごの生育状況等〉

表1 生育状況(8月10日調査)

		金成小堤	金成末野	高清水福塚
タテ径	本年(mm)	58.4	65.0	62.2
	平年(mm)	59.4	62.0	60.2
	平年比(%)	98.3	104.8	103.3
ヨコ径	本年(mm)	66.7	72.5	70.6
	平年(mm)	67.0	69.7	65.9
	平年比(%)	99.6	104.0	107.1

8月10日現在のりんご(ふじ)の果実肥大は、99~107%(ヨコ径)と平年並から平年をやや上回っている状況です。

## 〈病害虫発生状況等〉

表2 宮城県病害虫防除所発生予報第8号(令和5年8月7日発表)

病害虫名	発生量	予報の根拠
斑点落葉病	やや多い	(1)巡回調査の結果、徒長枝及び新梢における発生地点率は平年より高かった。発病葉率は、徒長枝及び新梢ともにほぼ平年並であった。発病果は平年と同様にみられなかった。( / ± ~ + ) (2)高温多湿が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く( / + )、降水量はほぼ平年並と予報されている。( / ± )
ハダニ類	平年並み	(1)巡回調査の結果、発生地点率及び1葉当たりの寄生頭数は平年並であった。( / ± ) (2)高温乾燥が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く( / + )、降水量はほぼ平年並と予報されている。( / ± )
キンモンホソガ	やや多い	(1)巡回調査の結果、発生地点率は平年より高かったが、被害葉率は平年並であった。( / ± ~ + ) (2)20~25℃の気温が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。( / - ~ ± )
果樹カメムシ類	やや多い	(1)巡回調査の結果、発生地点率は平年より高かったが、被害果率は平年並であった。( / ± ~ + ) (2)高温が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。( / + )

管内では目立った病虫害は確認されていませんが、仙台管区气象台による向こう1か月(8月19日から9月18日)の天候予報によると、『東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。なお、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。』との予報が出ています。

農作業中の熱中症予防に努めながら、防除の際には、次の防除のポイントを参考にしてください。

#### 〈防除のポイント〉

- (1) 散布予定日に降雨が予想される場合は、散布を前倒しして降雨前に防除しましょう。また、降雨が続く場合は、散布間隔があかないよう晴れ間をぬって防除を実施しましょう。
- (2) スピードスプレーヤの防除では低速による全列走行とし、薬液のかかりにくい部分は、病虫害の発生源になりやすいことから補完散布するとともに、不要な徒長枝を整理しましょう。
- (3) ハダニ類は、ほ場をよく見回り、1葉当たり3頭以上寄生している場合は防除を実施しましょう。また、発生状況をよく確認して薬剤を選定し、散布後の状況もよく観察しましょう。
- (4) 果樹カメムシ類は、ほ場をこまめに見回り、成虫がみられた場合は速やかに薬剤防除を行いましょう。

#### 農薬危害防止運動実施中！

- ① 周辺環境や近隣住民に配慮しましょう
- ② 農薬容器のラベルをよく読みましょう
- ③ 使用・販売する農薬の農薬登録を確認しましょう
- ④ 土壌くん蒸剤(クロルピクリン剤等)の取扱いに注意しましょう
- ⑤ 農薬の容器を移し替えたりせず、鍵のかかる場所に保管しましょう
- ⑥ 農薬散布作業中・作業後の事故に注意しましょう

#### 農作業中の熱中症を予防しましょう

- 1 暑さを避けましょう
- 2 こまめな休憩と水分補給をしましょう
- 3 単独作業は避けましょう
- 4 熱中症対策アイテム(帽子、冷却剤など)を活用しましょう